



IVY
Social
School
Vol.2

ワークショップ

「もっと話そう！エネルギーと原発のこと」

2・16 (土) 仙台市戦災復興記念館

3.11 とそれに伴う原発事故により、私たちのエネルギー環境は大きく変化しています。今回の講座では、「世界が100人の村だったら」などの制作で知られる開発教育NGO「DEAR」が作った最新教材を使って、エネルギー問題について考えます。

エネルギーのあり方や原発との付き合い方を考えることは、私たち一人一人が、どのようなエネルギーを選び、どのような社会をつくるのかを考えることにつながります。

このワークショップでは、エネルギー政策や原発の賛否を問うことはしません。一人ひとりが当事者として、まずは知ること、そして話題にするのを躊躇せず話し合える場をつくることを目的に行います。

講師

(特活) 開発教育協会 / DEAR

八木 亜紀子さん

主催

IVYみやぎ
(認定NPO法人IVY 宮城事務所)

共催

(特活) 開発教育協会

協力

(財) 仙台国際交流協会



講師

八木 亜紀子さん



特定非営利活動法人
開発教育協会

大学時代に国際ワークキャンプに参加したことをきっかけに、ボランティアや市民活動の世界へ。2007年より開発教育協会 (DEAR) の職員となり、広報や教材作成、ワークショップのファシリテーターなどを務めている。ワークショップ「もっと話そう! エネルギーと原発のこと」の制作者のひとり。

開発教育教材「もっと話そう! エネルギーと原発のこと」について

2011年3月の福島第一原発事故を受けて、DEARで作成された教材です。教室や市民による学びの場で活用できる16の参加型学習のプログラムと、中学・高校、大学、教員研修での5つの実践事例を収めています。

この教材の目的は、エネルギー政策や原発の賛否を問うのではなく、一人ひとりが未来の社会をつくる当事者として、まずは知ること、そして安全に話し合う場をつくること。原発停止をめぐる様々な意見を読み比べたり、新聞記事を読んで自分の気持ちを話し合ったり、あるいは、身近なテクノロジーの利用について規制が必要かどうかを議論する16の教案が収められています。



日時 2月16日(土) 13:30-16:30 (3時間)

会場 仙台市戦災復興記念館 4F第4会議室
仙台市青葉区大町二丁目12番1号

定員 30名

参加費 一般500円・学生300円(資料代)

申込 下記の内容で、メールまたはFAXを送ってください。



FAXお申し込みフォーム(FAX: 023-634-9884) (メールの場合 ivymiyagi@gmail.com)

- ①お名前 _____
- ②メールアドレス _____
- ③職業・所属など _____